

人々の心で社会は変わる

浦安市立高洲中学校 1年 ライト さら

数年前のある晩、私と家族は車でお台場からの帰り道に暴走族にからまれて衝突事故にあいました。幸いにも私達家族はだれ一人ケガもなく無事でした。私達の車に前と後ろ、左右に暴走族が囲んできました。前にいたバイクが急停止をした衝げきでバイクの後部に乗っていた女の子が首を痛めてしまいました。父は車を止めて暴走族のバイクがある方へ一人で歩いて行きました。そして首を痛めた女の子を気づかい暴走族の人達と冷静に話し合いを持ちました。父は暴走族に「君たちは未来があるからこういう事はしないで、人々のためになる生き方をしよう。後ろに乗っている女の子の事もしっかり考えてほしい」と伝えて、警察が到着する前に暴走族をその場からすぐ帰るようにうながしました。

私はこの経験を通して学んだことがあります。この衝突事故は私が幼かったので、「怖い」ぐらいしか思っていませんでした。今思い返してみれば父のように何事が起きても冷静な気持ちを備えた方が良いと思います。そして何が起こるかわからない状況や相手に対してしっかり対応できる人になりたいです。

この事故の話は犯罪には発展しませんでした。もし父が相手のののしったり怒りを相手にぶついたりしていたら、大きな事件や犯罪になっていたかもしれません。もちろん父は始めからこの事故が起こるとは予測していませんでしたが、このでき事のその後の対応、対処がとても大切だと思いました。

多くの犯罪者が犯罪につながる理由はそれぞれ個人的な理由があると思いますが、人生の中でそう遇するハプニングや出来事に対処する方法を生活の中で学ぶことが大切だと思います。

例えば、感情やゆう惑にどう対処するかです。抑えきれない感情やゆう惑に負けてしまう事は日常で起こってしまうことですが、日

々少しずつ心の中で「気をつけよう」「今回はゆう惑に負けてしまったけど次はがまんをしてみよう」という思いを持って生きていけば、がまんできる人が増えて事件や犯罪が少なくなるのではないのでしょうか。そしてまわりにいる人が少しでも温かい気持ちで接していくことが大切だと思います。

犯罪者は、様々な理由で罪を犯してしましますが狂気やどん欲、復しゅう心をはがまんできず表に出してしまい犯罪につながってしまいます。しかし、人は罪を犯さないという選択を持っているのです。

かつて父は、ヒーローと悪役の違いを教えてくださいました。ヒーローも悪役も人生の中で壊滅的で恐ろしいことを経験しています。しかしヒーローと悪役の違いは同じ戦いでも対処の仕方が異なるのです。多くの悪役は、自分の感情を周囲にぶつけて自分勝手な行動で戦いますが、ヒーローはみんながこれ以上悲しんだり、悪い状況にならないように、全力で戦います。ヒーローと悪役は日々の心のがまん強さや、人々を思いやる心の持ち方が違うのです。

この作文の教訓は、自分の感情をコントロールすることで社会をより良くする道が開かれると思っています。